

《履修上の留意事項》遠隔授業のみ実施

《担当者名》大友 芳恵

【概 要】

社会に内在する貧困・低所得をめぐる諸状況を構造的に捉えることができるように、視覚教材・事例等を用いて現代社会の多面的・複合的課題の理解を行う。さらに、「社会的排除」の構造的理解とそれらへの政策対応や実践のあり方について考える。

【学習目標】

低所得階層のおかれている諸状況について説明することができる。
生活保護制度や他の関連制度について説明することができる。
自立支援プログラムの意義と実際及び課題に関して概説できる。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	公的扶助の概念	公的扶助の概念と範囲が説明できる ナショナルミニマムについて概説できる	大友
2	貧困・低所得者問題と社会的排除	貧困・低所得とは何か / 社会的排除としての貧困 絶対的貧困と相対的貧困 ケイパビリティの欠如としての貧困 について概説できる	大友
3	低所得者問題と社会的排除	貧困低所得者問題の現代的課題について列挙できる	大友
4	公的扶助の歴史	海外の歴史 / 日本の歴史について概説できる 貧困・低所得者対策の近年の動向について説明できる。	大友
5	生活保護制度の仕組み	生活保護法の目的、原理原則について説明できる 保護の種類と内容・方法について説明できる 保護施設の類型と役割を列挙できる	大友
6	生活保護制度の仕組み	被保護者の権利および義務について概説できる 不服申し立てと訴訟について概説できる	大友
7	生活保護制度の仕組み (中間確認テスト)	生活保護の財源・予算について説明できる (1～7回講義分小テスト)	大友
8	最低生活保障水準と生活保護基準	最低生活保障水準の考え方について説明できる 生活保護基準の考え方について説明できる 生活保護基準の実際について概説できる ・授業で提示する事前・事後課題(所要時間45分～90分程度)の学習を行うこと	大友
9	生活保護の動向	被保護人員や被保護世帯数の動向と現状を説明できる 保護の開始・廃止の動向について説明できる	大友
10	低所得者対策の概要	ホームレス対策の現状と課題について概説できる	大友
11	低所得者対策の概要	生活福祉資金貸付制度 / 社会手当制度について列挙できる その他の低所得者対策について概説できる	大友

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
12	生活保護の運営実施体制と関係機関・団体	国・都道府県・市町村の役割について説明できる 福祉事務所の役割について説明できる 福祉事務所専門職の役割について説明できる	大友
13	貧困・低所得者に対する相談援助	相談援助活動の実際について概説できる 他機関・他職種との連携・協働の現状とあり方について説明できる	大友
14	生活保護における自立支援	自立とは何かについて説明できる 自立支援プログラムの位置づけと現状について概説できる	櫛部武俊 (特別講師) 大友
15	まとめ	低所得者に対する支援と生活保護制度に関するまとめ	大友

【評価方法】

定期試験60% 小テスト25% レポート15%

【備考】

教科書：社会福祉士養成講座編集委員会編『低所得者に対する支援と生活保護制度』第5版（2019）中央法規
大友芳恵『低所得高齢者の生活と尊厳軽視の実態～死にゆきかたを選べない人々～』（2013）法律文化社

参考書：授業内で適宜紹介する

その他：この科目は、社会福祉士・精神保健福祉士国家試験受験資格取得のための「低所得者に対する支援と生活保護制度」に該当する。教職課程（福祉）では、教科に関する科目の「社会福祉学（職業指導を含む。）」に該当する。

【学習の準備】

- ・毎回、授業終了時において、アナウンスされたテキスト予習範囲を読んでおくこと（所要時間45分～90分程度）。
- ・授業で提示する事前・事後学習（所要時間45分～90分程度）の学習を行うこと。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2

【実務経験】

社会福祉士

【実務経験を活かした教育内容】

高齢者の施設ソーシャルワーカーとして多くの生活困窮状態にある高齢者や家族への支援を行ってきた実務経験を活かし、生活保護制度の仕組みや低所得者への支援制度、生活実態などの知識を講義する。